

能と狂言 人間国宝の競演

友枝昭世と山本東次郎の至芸

能 八島 弓流 語那須【やしま】

出演

- シテ 友枝 昭世
- 間狂言 山本東次郎

狂言 武悪【ぶあく】

出演

- シテ 山本東次郎
- アド 山本 則俊
- アド 山本 則重

解説 馬場 あき子 (歌人・日本芸術院会員)

○アフタートーク
解説者と出演者によるお話

料金

5,000円【全席指定】

会場

川崎市麻生市民館ホール

公演日

平成26年5月3日(土・祝)

●開場 13時30分 ●開演 14時

チケット購入のご案内 2月1日(土)一斉発売!

1. インターネット (ホームページから24時間対応・要事前登録)

アルテリッカ

<http://www.artericca-shinyuri.com/> (パソコン)

<http://www.artericca-shinyuri.com/m/> (携帯)



2. 電話予約

川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2014チケットセンター
電話 044-955-3100(9:30~17:00)

3. 窓口販売 (A、B、C、D: 地図参照)

- A** 川崎市アートセンター
(窓口販売 9:30~19:30 毎月第2月曜除く)
- B** 新百合21ホール
(窓口販売 10:00~19:30)
- C** (株)ブルーディオ【昭和音楽大学北校舎内】
(窓口販売 10:00~17:00 土・日・祝日除く)
- D** マイタウンチケットセンター【新百合ヶ丘マブレ「写真工房 彩」内】
(窓口販売 9:00~21:00 不定休)
※お近くのセブンイレブンでもお買い求めいただけます。



能と狂言

人間国宝の競演

— 友枝昭世と山本東次郎の至芸 —

前回大好評を博した公演の第2弾!今回は能「八島」で友枝昭世と山本東次郎の競演が実現します!

友枝昭世が老翁の懐古談の中に描かれる古戦場の哀愁を情緒たっぷりに、またそれとは対照的に名のために生命を賭して戦った義経の有様を息もつかせぬ所作の連続で演じます。

小書「那須」は那須与一が扇的を射た話を語る間狂言随一の大作で、山本東次郎の華麗な語りが、能に一層の花を添えます。

能

八島弓流 語那須【やしま】

春の夕暮れ、西国行脚の途中で讃岐の国(香川県)屋島の浦を訪れた都の僧(ワキ)が、一夜の宿を乞おうと無人の塩屋に立ち寄り、主の帰りを待っていると、漁翁(シテ)と若い漁夫(ツレ)が釣りを終えて帰ってきます。僧一行が一夜の宿を乞うと、一度は粗末なのでと断りますが、都の者と聞いて懐かしがり、中へ招き入れます。そして漁翁は、僧の求めに応じて屋島での源平合戦の模様、義経の大將ぶり、景清と三保谷の鏖引、佐藤継信と菊王の壮絶な最期などを物語ります。僧は、そのあまりにも詳しい物語に不審を抱き、名を尋ねると、漁翁は世の明け方、修羅の時に名乗ろうと言ひ、義経の亡霊であることをほのめかして消え失せます。<中入>

僧が茫然としていると、そこへ所の者(アイ)がやって来て、そこにいる僧を咎めます。僧は、その者が本当の主だと知り、屋島合戦の物語を所望します。語り終えた塩屋の主は、僧の話から、先程の漁翁は義経の霊であろうと判断します。

その夜、僧の夢の中に甲冑姿も凛々しい義経の霊(後シテ)が現れ、屋島の合戦で波に流された弓を敵に取られまいと、命を賭して取り戻した「弓流し」の有様を再現し、修羅道での絶え間のない闘争ぶりを見せたかと思うと、夜明けとともにその姿はなく、浦風が聞こえるばかりでした。

狂言

武悪【ぶあく】



度重なる武悪の無奉公についに堪忍袋の緒を切った主人は、武悪を討てと太郎冠者に命じます。致し方なく出かけた太郎冠者でしたが、どうしても親友の武悪を切ることができず、主人の目の届かぬ所へ行くと武悪を逃がします。まんまと武悪を討ちましたとの報告に胸のつかえを下した主人は、太郎冠者を供に東山へ遊山に、一方命拾いした武悪は清水の観世音へお礼参りに出かけ、会ってはいけない二人が鳥辺野でバッタリ!

またまた太郎冠者の機転で、武悪は幽霊となって主人と対面します。狂言には、人を殺す場面は決してない。これも一つの見識なのです。

プロフィール

喜多流 能楽師 友枝 昭世(ともえだ あきよ)



- 1940年3月24日/肥後熊本・加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年/能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多実氏に師事
- 1978年/第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1995年/第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1996年/「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
- 2000年/春の紫綬褒章受賞
- 2003年/日本芸術院賞受賞
- 2004年/伝統文化ボーラ賞大賞受賞
- 2008年/重要無形文化財(人間国宝)認定
- 2011年/日本芸術院会員に就任

山本東次郎(やまもと とうじろう)



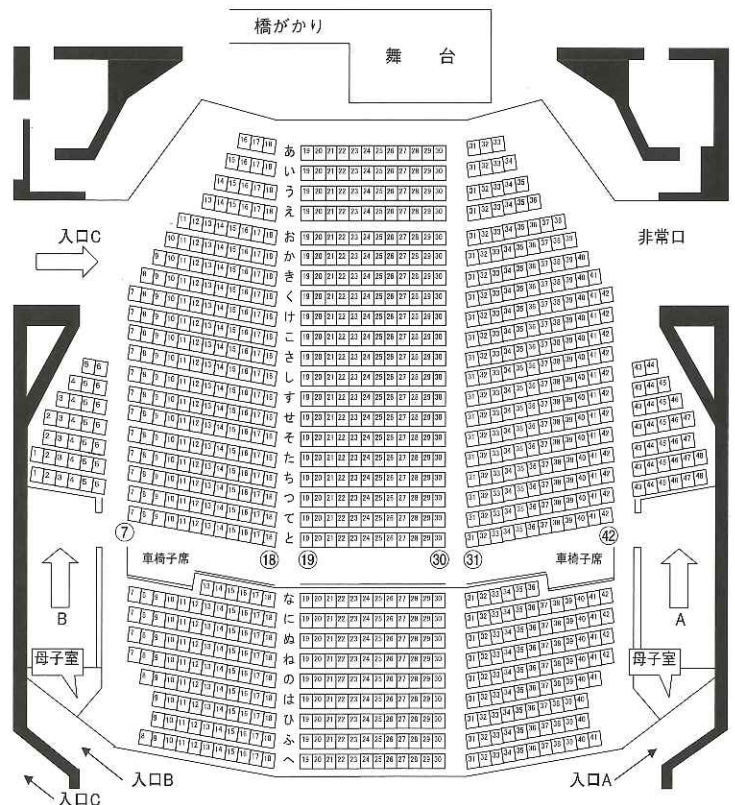
- 1937年生まれ。狂言方大蔵流・山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年/芸術祭奨励賞受賞
- 1992年/芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年/紫綬褒章受賞
- 2001年/エクソンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年/日本芸術院賞受賞
- 2012年/重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)認定
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長。公益社団法人能楽協会会員
- 著書
「狂言のすずめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往来社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子(ばば あきこ)



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多実入門。新作能の制作も行い、「影姫」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは [川崎市麻生市民館座席表](#)